

阪急長岡天神駅東口にぎわい空間整備

に関わる アンケート等 結果概要

どんな広場にしよう…？

阪急長岡天神駅 東口
(暫定) 駅前広場

約3000人の方から回答が。

ご協力ありがとうございました！

阪急長岡天神駅東地区で展開する

『駅東口の暫定駅前広場整備』に向け、

“どのような広場整備が望まれているか”、

地域住民との意見交換会やWEBアンケート

・街頭聞き取り調査など、多様な手法で

意見を募りました

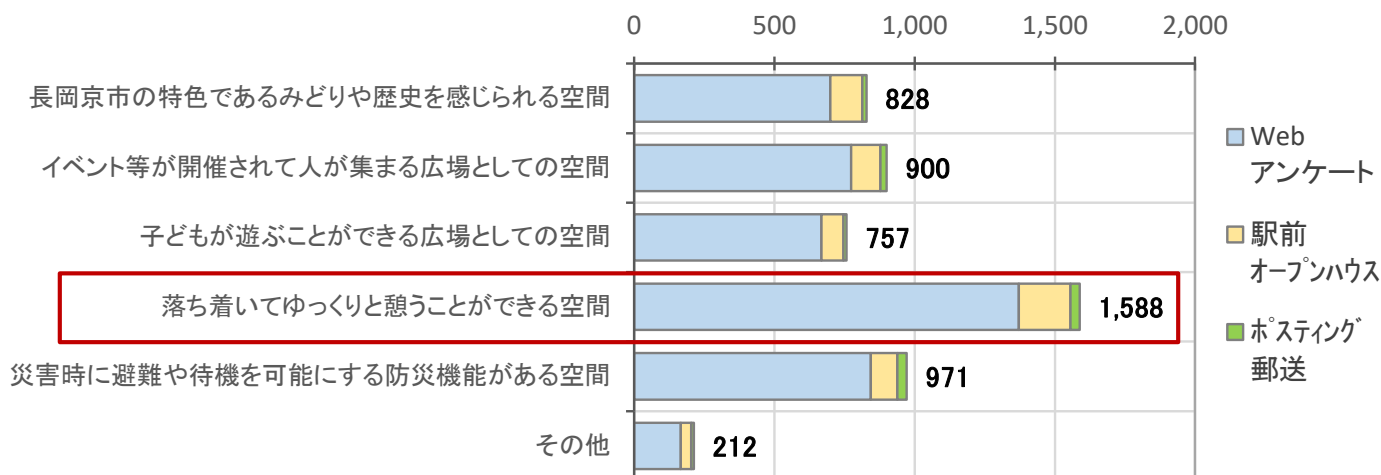
全体まとめ

回答者 計2976人

(WEB・ポスティング・意見交換会・街頭聞き取り等)

“にぎやかな広場”というよりは
“落ち着いた広場”へのニーズが高い。

Q 今回行う東口賑わい空間の整備において、
重視すべきだと思うことは何ですか。(2つまで○)



- いずれの調査においても「落ち着いてゆっくりと憩うことができる空間」が5割前後の回答で、最も多い。
- 「イベント等が開催されて人が集まる広場としての空間」も3位と多いが、それ以上に
落ち着いた空間へのニーズが高い

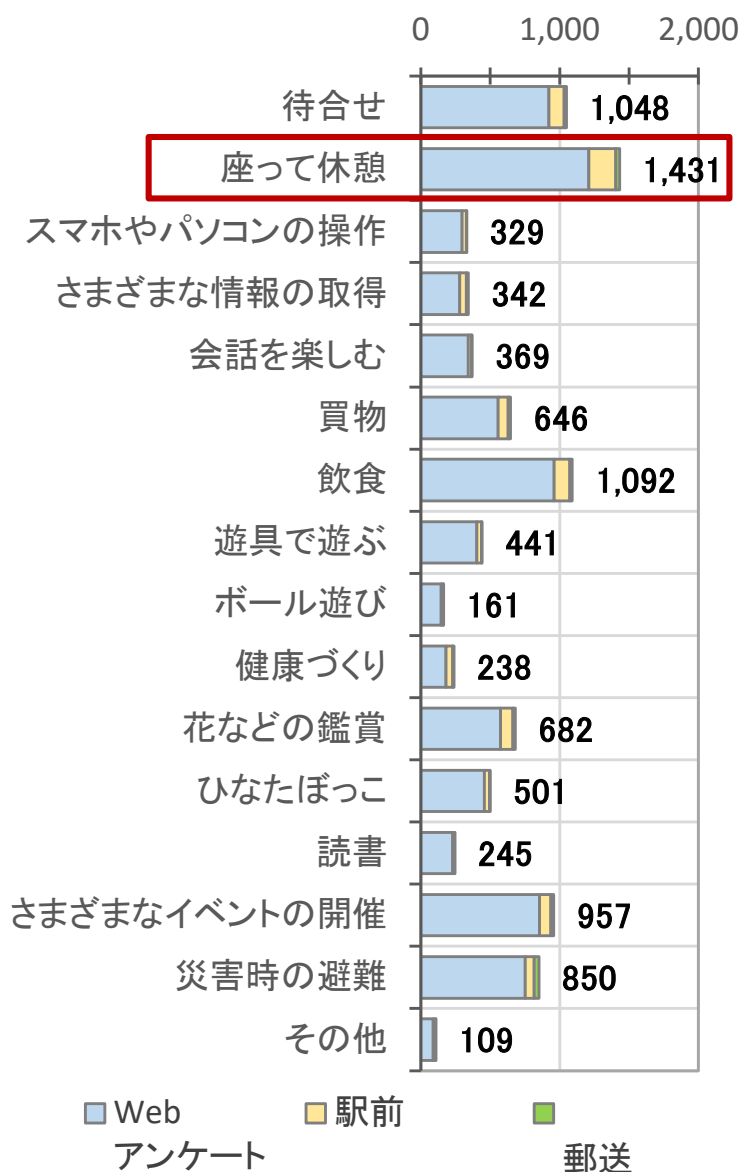
全体まとめ

回答者 計2976人

(WEB・ポスティング・意見交換会・街頭聞き取り等)

Q 東口賑わい空間において、あなたはどんなことができればよいと思いますか。(3つだけ○)

- 「座って休憩」が約5割を占めて最も多い。
- 前設問と同様に「落ち着いてゆっくりと憩うことができる空間」へのニーズが高い。
- 待ち合わせ・飲食・イベントの開催など、駅前広場に求められる機能や賑わいへのニーズも高い
- 近隣の方を対象とした、「ポスティング・郵送」では、広場を身近なオープンスペースとしてとらえ、「災害時の避難」への回答数が多くみられた



意見交換会

(近隣にお住まいの方からの意見)



開催日	令和3年10月25日、10月28日、10月31日
対象エリア	阪急長岡天神駅東地区
対象権利者	対象エリア内の土地・建物所有者
参加者総数	26名

“住環境の保全”や“適正な管理運営”
に対する意見が多く寄せられました。

《管理の視点》



- ・広場は24時間使えるのですか。
夜間の利用や管理体制の検討が必要と考えます。(音・光・防犯)



- ・広場を整備すると、駅の利用者だけでなく、自転車に乗っている人も利用
すると思う。そういった方々への対応策も検討する必要があると思う。

《玄関口整備における空間利用の視点》



- ・広場に長岡京市のまちづくりの事業説明や観光名所、特産品をPRできる
施設整備をしてはどうか。



- ・子どもが使うような公園として、砂場を整備するとしたら、野良猫の糞尿が
多くなるのではないかと懸念しています。管理のあり方を検討して欲しい。

《官民連携の視点》



- ・広場に小さいカフェなどを作るとしたら、その種類によっては、周辺商店と
競合してしまうのではないか。

Webアンケート (市HP/市公式LINE)



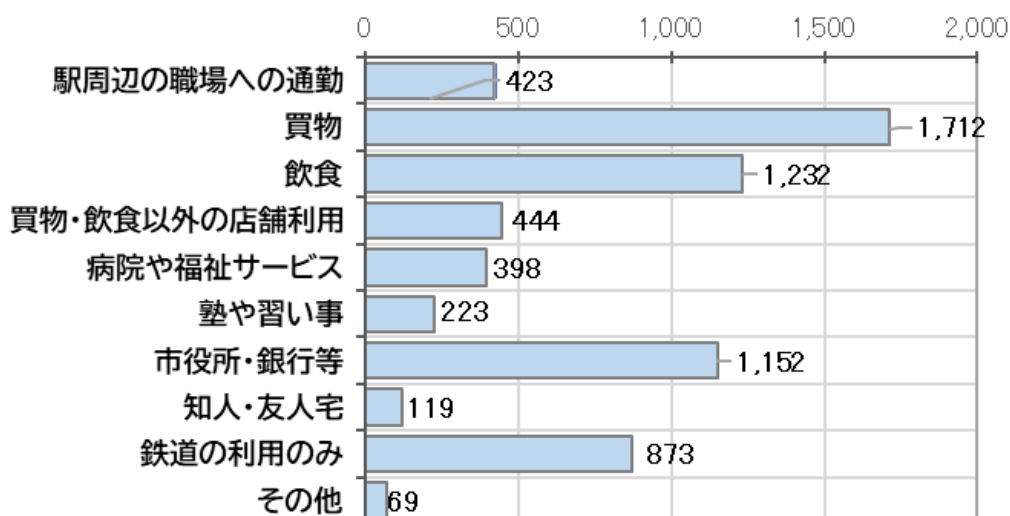
実施日	令和3年11月16日～12月15日
実施方法	長岡京市HP/長岡京市LINE
回答総数	2,524名

“**落ち着いて憩える広場**”や
“**防災機能がある広場**”
に対するニーズが多く寄せられました。

Q： 駅周辺地区の利用目的・利用頻度等は？

A： 買物が最も多く、次いで飲食。

利用頻度は、半数以上の方が“毎日”又は“週2、3日 以上”。
利用者の属性は“30～40代”が半数を占めていた

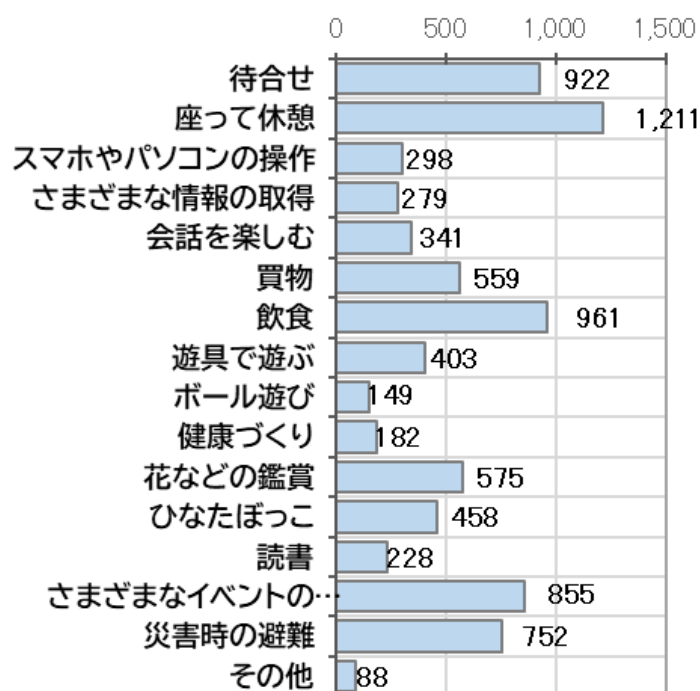
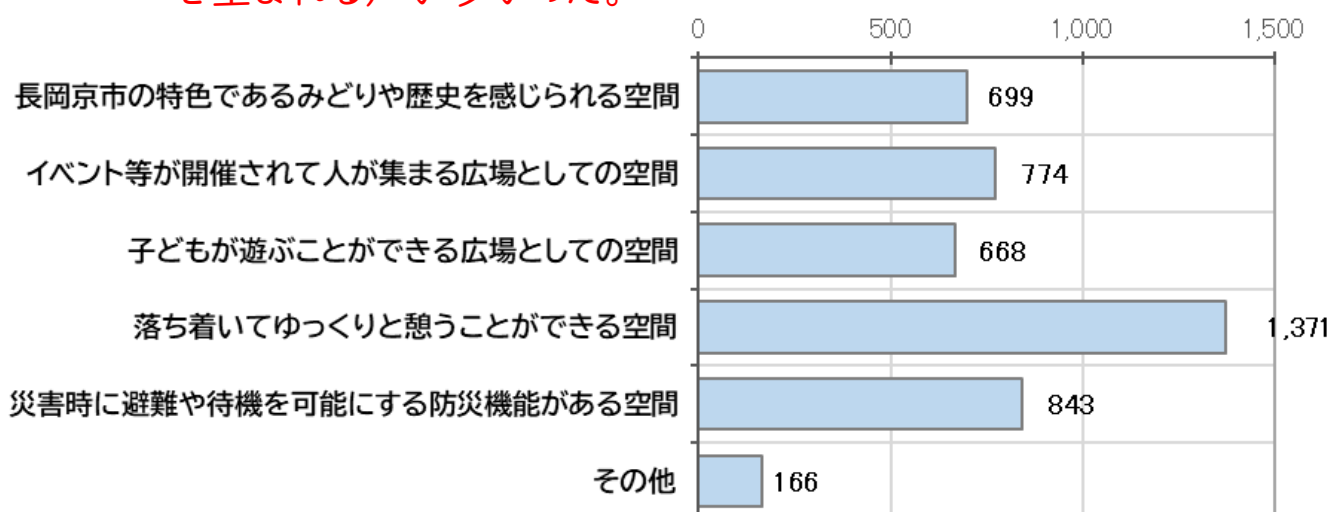


Webアンケート (市HP/市公式LINE)



Q：整備において、重視すべき点は？

A：「落ち着いてゆっくりと憩うことができる空間」
「災害時に避難や待機を可能とする防災機能がある空間」
を望まれる声が多かった。



Q：東口賑わい空間で
“できたらよい”と思うことは？

A：「座って休憩」、
「飲食」、「待ち合わせ」
を望まれる声が多かった。

ポスティングアンケート (駅東地区))



実施日	令和3年11月29日～12月15日
対象エリア	阪急長岡天神駅東地区
対象権利者	対象エリア内の土地・建物所有者、居住者
送付総数	296名(回答数68名)

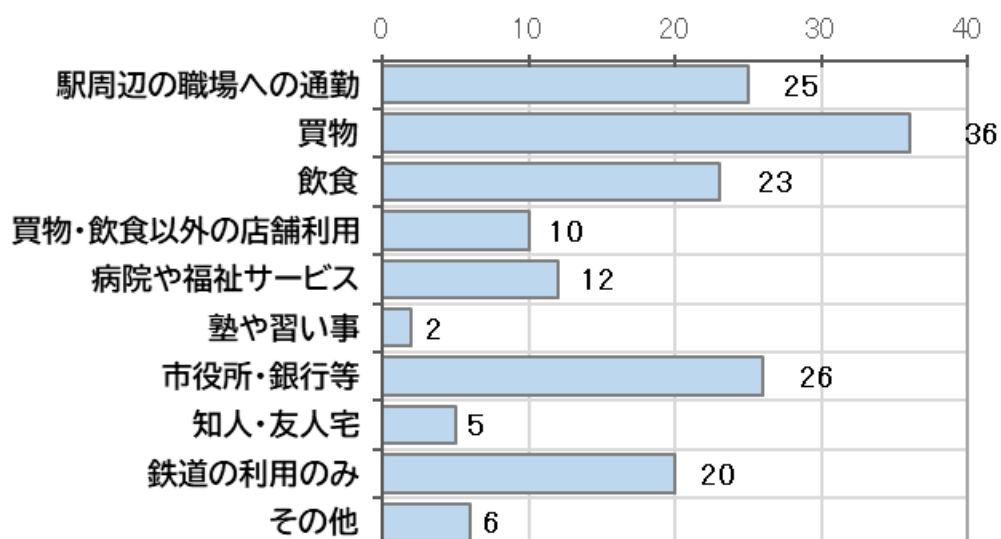
“**落ち着いて憩える広場**”や

“**防災機能がある広場**”

に対するニーズが同様に多く寄せられました。

Q： 駅周辺地区の利用目的・利用頻度等は？

A： 買物が最も多く、次いで市役所・銀行、通勤
利用頻度は、半数の方が“毎日”利用
属性は40～60代が6割を占めていた。

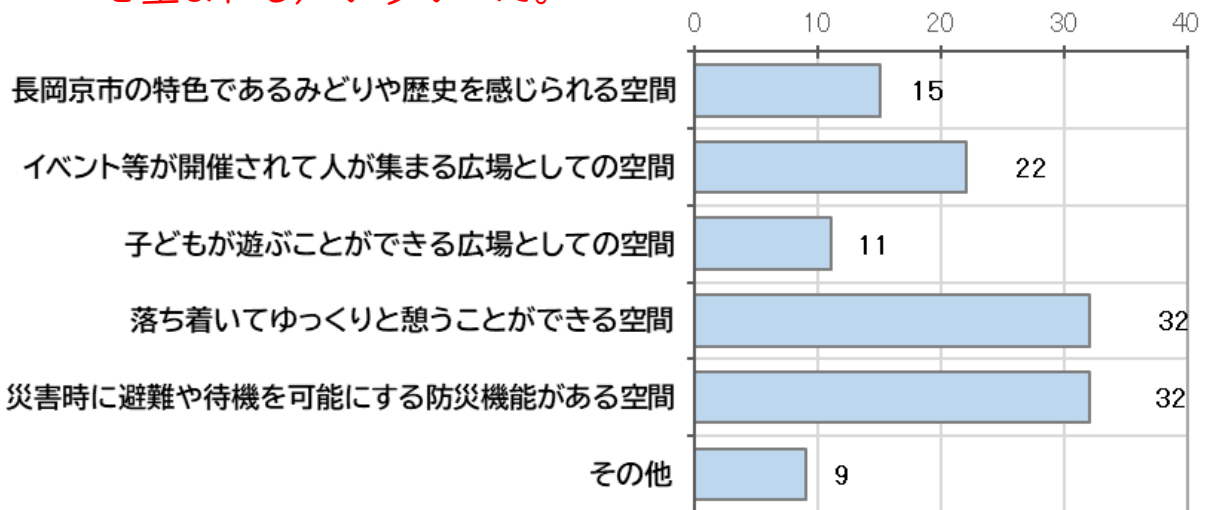


ポスティングアンケート (駅東地区)



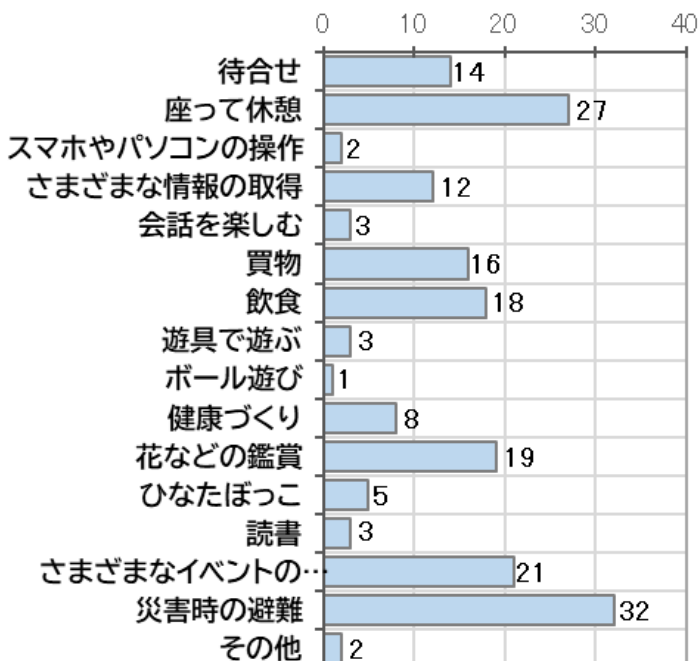
Q：整備において、重視すべき点は？

A：「落ち着いてゆっくりと憩うことができる空間」
「災害時に避難や待機を可能とする防災機能がある空間」
を望まれる声が多かった。



Q：東口賑わい空間で
“できたらよい”と思うことは？

A：「座って休憩」、
「イベントの開催」、
「災害時の避難」
を望まれる声が多かった



街頭 聞き取り調査 (阪急長岡天神駅東口)



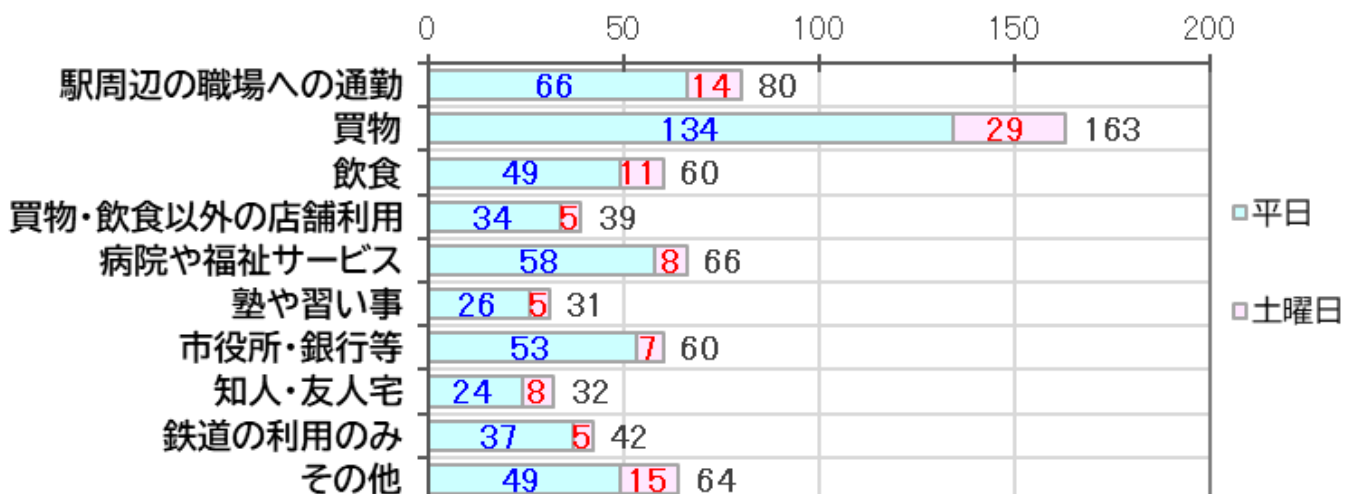
実施日	令和3年11月17日～11月20日
実施方法	阪急長岡天神駅東口で聞取調査
回答総数	384名

“**落ち着いて憩える広場**”のほかに
“**長岡京らしさのある広場**”
に対するニーズが多く寄せられました。

Q： 駅周辺地区の利用目的・利用頻度等は？

A： 買物が最も多く、次いで通勤

利用頻度は、約6割の方が“毎日”又は“週2、3日以上”利用。
属性は10～70代まで概ね同じ割合で意向聴取ができた

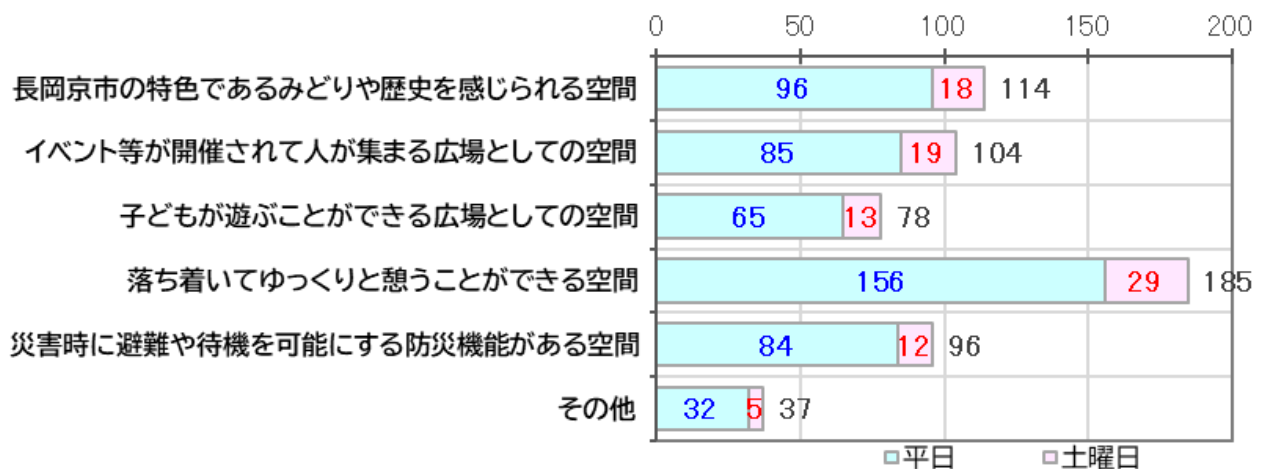


街頭聞き取り調査 (阪急長岡天神駅東口)



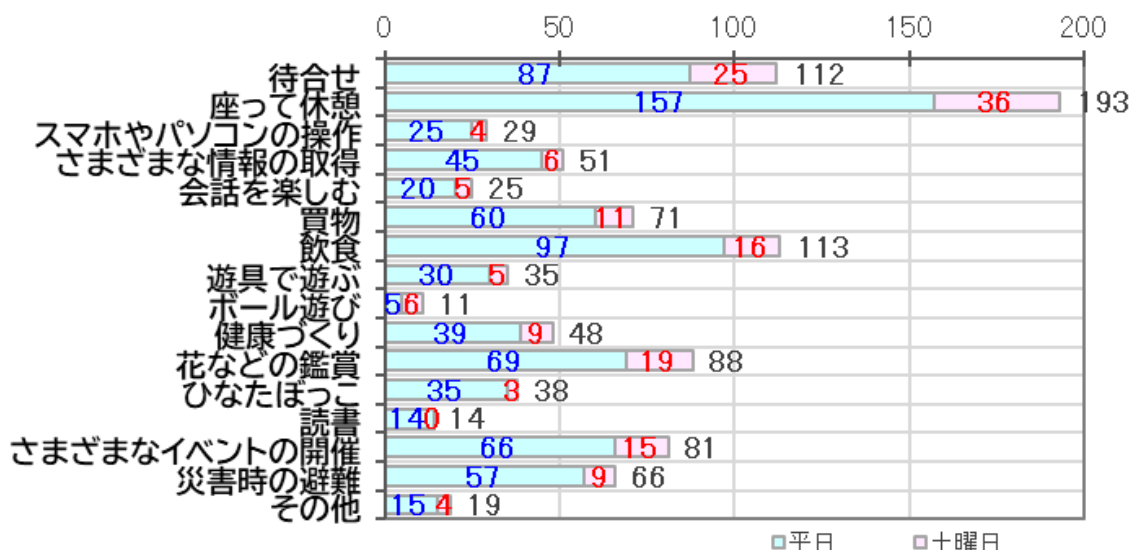
Q： 整備において、重視すべき点は？

A： 「落ち着いてゆっくりと憩うことができる空間」
「長岡京市の特色であるみどりや歴史を感じられる空間」
を望まれる声が多かった。



Q： 東口賑わい空間で“できたらよい”と思うことは？

A： 「座って休憩」、「飲食」、「待ち合わせ」を望まれる声が多かった。



住環境の維持と 賑わい空間の両立がテーマ

【まとめ】

広場周辺の住環境を維持しながら、
防災機能を有し、落ち着いて憩う
ことができる空間整備を目指していきます。



阪急長岡天神駅東口にぎわい空間整備
に関わる アンケート等 結果概要